

福音の園だより

平成十八年度「高齢者雇用優良事業所協会会長賞」受賞
TOSHIKO『MYOのききまのこころ』取材紹介施設

グループホーム・デイサービス介護保険事業者指定
350-0016 埼玉県川越市木野目一八七八番地一

特定非営利活動法人 福音の園・埼玉 事務局

☎049-230-1111 (FAX)230-1112

福音の園、Gospelgarden は、有限会社シャロンの商標です。

外部評価訪問調査を終えて

500か所の「細分化された」マスローの欲求

グループホーム 福音の園・川越 ホーム長 杉澤 卓巳
一月十五日(金)、「第4回外部評価・第1回介護サ
ービス情報公表」訪問調査が行なわれた。
今年度より「民間指定評価機関」(7社)
から選択して契約、依頼するものになった。

五十五項目、他を事前に「自己評価」し提出
したものを2名の調査員と対面形式で「確認していく
欠点をことさらに指摘したり、一方的な外部からの指導
を行なうのではなく、より良くしていこうという視点
に立った改善に向けての支援という形で行なわれた。



【事業所が特に力を入れている点:アピールしたい点】

1. 立地住環境 郊外の住宅団地に隣接し、田畑の広が
る一角に建てられ、屋上活動広場・南側花菜園を設けた
二階建て2ユニット単独事業所である。

2. 運営理念・方針 「マスローの8つの欲求」の通り、「肉
体の欲求(1~5)」と共に「精神の欲求(6~8)」を満た
すべく、理念と方針を掲げて、音楽療法(週1回)・園芸

療法(月2回)・ペット療法(月1回)をはじめ、様々な生
きがい活動を導入している。 3. 重度化指針 「地域
の力を活かしながら、最期まで生きがいを支え続ける」を
掲げて、看取りをも視野に入れた介護を実践し、介護力
向上に日夜取り組んでいる。家族にとつて最大の不安で
ある「重度化したら退居しなければいけない」を払拭し、
施設(業務)優先ではなく、介護保険の基本理念である
「利用者(家族)本位」を第一としている。

長く医療現場で看護業務に従事され、第一線を退か
れている主任調査員さんが、開口一番「私が勤めていた
当時、マスローの欲求は5つでした」と話し出された。
マスロー(A.H. Maslow 1908~1970)は、人間が秘めてい
る欲求は「①食べること ②排泄すること ③呼吸するこ
と ④眠ること ⑤清潔でいること ⑥愛されること ⑦信
頼されること ⑧信じてること」と分類した。確かに事典等
には「①生理的欲求 ②安全欲求 ③所属・愛情欲求 ④自
尊と尊敬欲求 ⑤自己実現欲求」の5つの欲求階層説を
唱えたと記されている。推測になるが、マスローは欲
求階層説を発表した後の晩年、8つに細分化したのか
もしれない。例えば、「不眠には睡眠導入剤、痛みには
鎮痛剤」が常道のところ、不眠や痛みという肉体的欲求
には潜在的な本人固有の「不安」(精神の欲求)が原因し
ている。①~⑤の肉体的欲求には最大限の努力をし、
快適な住環境・細やかな身体のケア・美味しい食事の
提供に心掛けています。ところが、⑥~⑧の精神の欲求
にまでは、残念ながら全てのホームが心掛けていない
という訳ではない。人間不信や生きがいの喪失、死への
恐れなどの「精神の欲求」に対して、応えられるだけの
支援が私たち介護サービス事業者には求められている。
一、心に触れる優しい支援の実践
二、希望への支援の実践」を掲げて、
日夜介護力向上に取り組んでいる。



「家族の声」

あたたかみの中の幸せを感じています

一段と寒さが厳しくなっております。私は毎朝5時
45分頃に自宅を出て、歩いて店に向かいます。外は
夜明け前で暗いです。外灯も暗く、行き交う人の顔も
よく判りません。一週間程前、男の泣き声が段々近付
いて来ました。片手に小さなビニール袋を持って、ヒ
トの名前を叫んで泣いて歩いているのです。私と同じ
位かもうちよつと上かの男の老人でした。生きていく
ことの厳しさと寂しさを痛感させられました。そし
て、毎朝、母が皆様の心温まるお世話で過(こ)さしてい
ただいている安心感でオレもこうやって歩いて仕事場
に向かうことができるんだと心から感謝しております。

先週17日、次女で訪問看護婦のTが子供三人を連
れて妻と久し振りに母と面会してくれました。Tが妻
に語った感想は次の通りです。「おばあちゃんがお世
話になっていく福音の園は①部屋の隅々まで塵一つ
なく、掃除がいき届いていてとても清潔。②ホームに
よってはトイレの臭いや、食品の臭いが入り混じって、
何ともいえない臭いがするところがあるがそういう臭
いがない。③入所者の身体がキレイ。風呂やその他介
護する方々の手入れがいき届いていると思われる。

私は他に行ったことがないので、毎週当たり前のよう
に思っておりましたが、あらためて母の幸せを感じま
した。皆様、心から「ありがとうございます」と感謝申し上げま
す。(中略) 5時40分になりました。このへんでペン
を置いて、出掛けます。99才の母のお世話、目頭が
熱くなります。宜しくお願い致します。

感謝を込めて!!!

2009年 12月22日

鈴木 壮夫